

令和7年8月29日

部課長 各位

犬山市長 原 欣伸

令和8年度当初予算編成方針について(通知)

本市ではこれまでに、子育て支援策をはじめ、教育環境の向上、都市基盤整備の推進をはかり、「第6次犬山市総合計画」をはじめとした各種計画の理念や目標を達成するための施策に取り組んできた。その歩みを止めることなく、市民の皆さんがずっと犬山に住み続けたいと思っていただける取り組みを、一層推進していかなければならない。

令和8年度の本市財政を見通すと、歳入の根幹である市税収入は近年同様のレベルを堅持する見込みであるものの、歳出面では社会保障費の増大が続いているほか、地域別最低賃金の上昇や、8月初旬に報告・勧告された国の人事院勧告にも表れているように、人件費の高騰も大きな影響が予想される。

令和6年度決算を踏まえた歳入予測と、実施計画での各課からの歳出要求の積み上げにより試算した財政シミュレーションでは、予算査定により要求事業費の5%(約16億円)の削減を行ったとしてもなお、令和8年度で約11億円の財源不足となる結果となった。令和7年度末見込の財政調整基金の残高を約14億円と見込んでおり、令和8年度は財政調整基金の繰入れにより、収支不足額を補填することができるものの、令和9年度以降は基金が枯渇するという危機的な状況である。

このため、将来にわたって持続可能な行財政運営を確立するため、創意工夫による経費削減を行い、限られた財源を効率的かつ効果的に活用するとともに、新たな財源確保に取り組むなど、歳入対策も強化した予算を目指す。令和8年度の当初予算編成にあたっては、事業選択、実施内容・時期の見直しなど、綿密な調整に加え、厳格な査定による編成を行う。各課においても、歳入増を検討し、最少の経費で最大の効果となるよう歳出抑制に取り組むこと。

以上を踏まえ、令和8年度の予算編成に当たっての基本的な考え方は次に示す通りとする。

1. 予算編成の重点事業

《市長マニフェストに資する事業》

1. 子育てで未来への投資
2. 教育で子どもの成長支援
3. みんなで支えあう高齢者と福祉
4. 犬山の潜在力と可能性を活かしてまちづくりにつなぐ
5. みんなに寄り添う市役所
6. 文化、スポーツ、市民活動でまちと人の活力につむぐ
7. 命と暮らしを守る安心安全なまちづくり

《いいね！いぬやま総合戦略 2025-2030 の重点事業》

1. “暮らしたいまち”になるための「12」の重点事業
2. “活躍したいまち”になるための「10」の重点事業
3. “訪れたいまち”になるための「4」の重点事業

2. 予算要求に際しての留意点

- ・DXを推進し、「来なくて良い市役所」を目指し、市民の利便性向上やサービスの充実に努めること。
- ・第6次犬山市総合計画に掲げた将来像の実現と市長公約の実現のため、社会の変化に応じた施策を積極的に展開すること。
- ・前例にとらわれない分野横断的な視点と発想を持って取り組むこと。
- ・これまで積み上げてきた施策を生かしつつも、目的や目標に対する成果を十分に検証したうえで「選択と集中」を徹底し、一層の効率化を意識すること。
- ・施設の営繕については、最重要課題であるので、計画的かつ予防的な保全を実施するため、長期的な観点から施設の修繕や改修等の需要を予測・検討すること。とりわけ、利用者の安全を第一優先と捉え、それぞれの組織内で明確な協議を実施すること。
- ・予算の積算については、精度を高めるとともに、限られた財源により最大の効果を挙げるように取り組むこと。
- ・既存、新規を問わず、すべての事業において国や県、その他団体の補助金の活用可能性を検討すること。